

令和3年度第3回岩手県公共事業評価専門委員会

現地調査資料

■ 日 時

令和3年8月2日（月） 8：30～12：25

■ 内 容

令和3年度公共事業再評価対象事業に係る現地調査

■ 調査開始時刻及び調査対象事業

調査開始時刻	調査対象事業
10：00	(1) 地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型） 一般国道282号 佐比内(八幡平市)
11：30	(2) 公営住宅建設事業（公営住宅） 県営岩脇緑が丘アパート(盛岡市)

■ 資料一覧

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査箇所位置図及び説明資料

参考資料 令和3年度公共事業評価専門委員会現地調査対象事業の審議概要

岩手県公共事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
石 川 奈 緒	岩手大学理工学部 准教授	土木環境	
泉 桂 子	岩手県立大学総合政策学部 准教授	森林経理学	副専門委員長
小笠原 敏 記	岩手大学理工学部 教授	海岸工学	専門委員長
清 水 真 弘	堤研一事務所 公認会計士・税理士	企業会計	
谷 本 真 佑	岩手大学理工学部 助教	交通工学	
武 藤 由 子	岩手大学農学部 准教授	農業土木	

(敬称略)

令和3年度公共事業評価専門委員会 現地調査行程

○開催日：令和3年8月2日（月） 8:30~12:25

○対象事業

- ① 地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）佐比内（八幡平市）
- ② 公営住宅建設事業（公営住宅）県営岩脇緑が丘アパート（盛岡市）

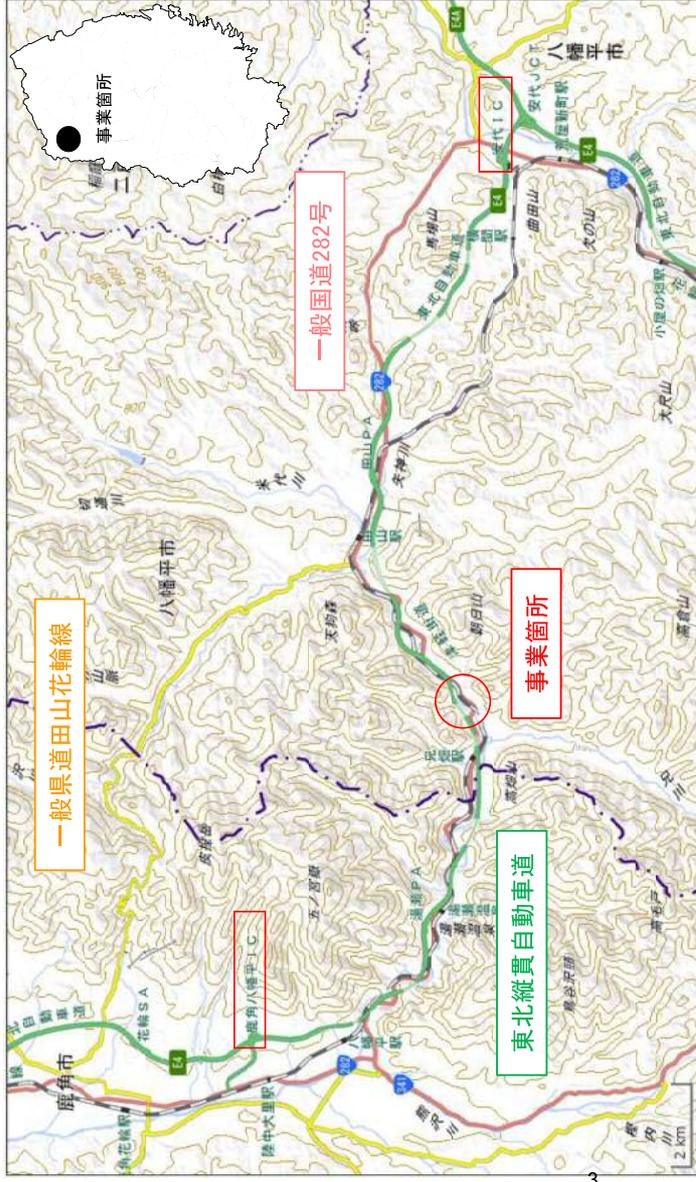
○行程

		0:05			0:25
	移動時間	着 8:45	移動時間	着 9:55	移動時間
県庁	0:15	盛岡駅【乗車】	1:05	八幡平市	0:05
正面玄関前		盛岡駅西口マリオス前1階ロータリー			現地調査
出発				佐比内公民館	佐比内
発 8:30		発 8:50		発 9:55	発 10:25

		0:20		0:05	
移動時間	着 10:30	移動時間	着 11:30	移動時間	着 12:05
0:05	八幡平市	1:00	盛岡市	0:15	盛岡駅【降車】
			現地調査		盛岡駅西口マリオス前1階ロータリー
	佐比内公民館		岩脇団地集会所前		
	発 10:30		発 11:50		発 12:10
					県庁
					正面玄関前
					帰庁
					発 12:25

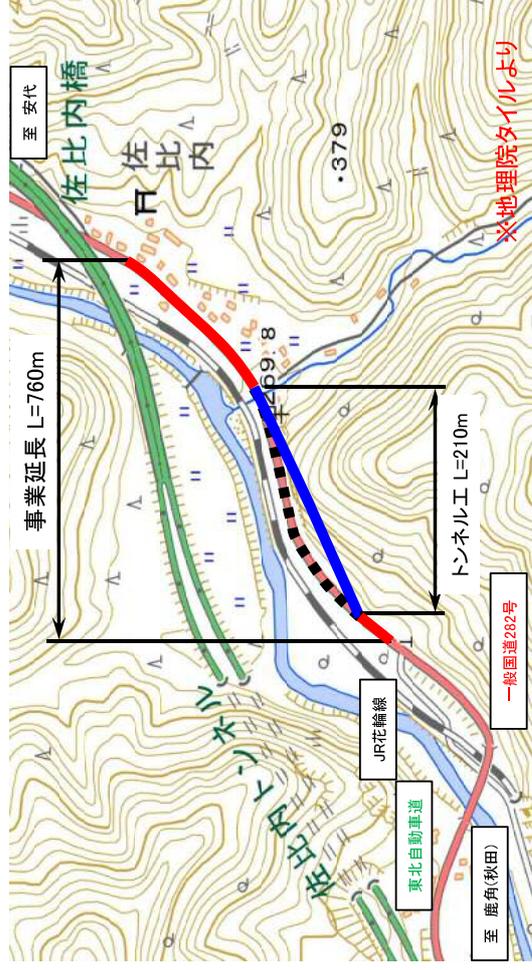
◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型) (一)282号 佐比内 実施状況図



- 事業内容
 - ・計画延長: L=760m
 - ・計画幅員: W=6.0(9.5)m
 - ・主要構造物: トンネルL=210m 橋梁N=1基

- 路線概要
 - ・一般国道282号は、盛岡市から青森県平川市を結ぶ幹線道路であり、北東北の物流・観光・産業を支えているほか、並行する東北縦貫自動車道道路の通行止め時には迂回路として機能し、代替補完路に指定されている。



- 課題
 - ・幅員狭小
 - ・線形不良
 - ・積雪多量



すれ違い困難な状況



線形不良及び積雪状況

- 事業目的
 - ・当該地区は、幅員狭小かつ線形不良及び冬期間の積雪量が多いことからすれ違い困難な危険箇所。
 - ・道路整備により、通行車両及び歩行者の安全で円滑な交通の確保を図り、広域産業の支援強化が図られる。

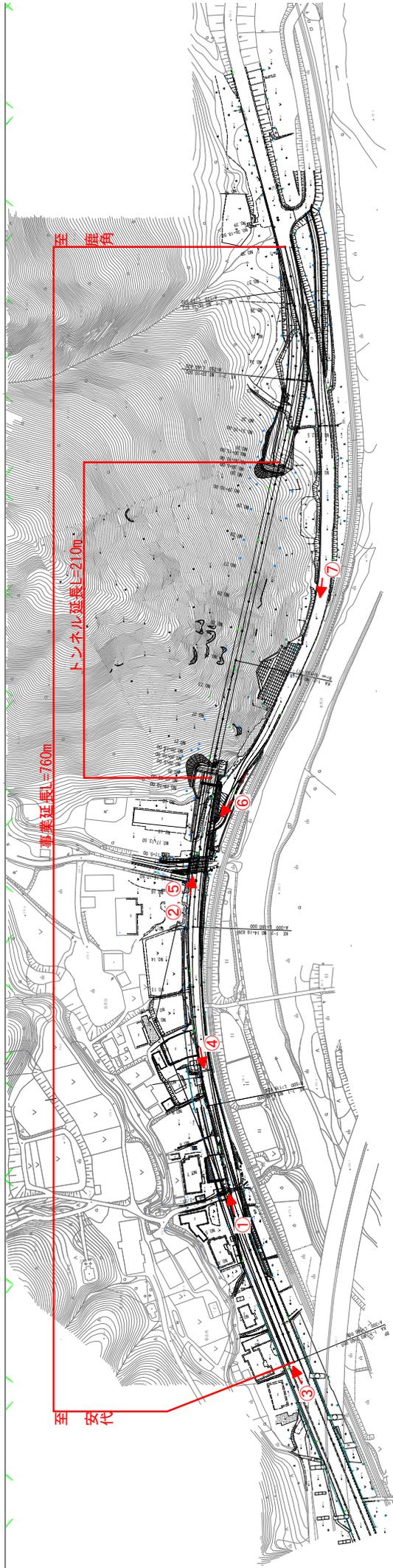
地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（一）282号 佐比内



①



②



③



④



⑤



⑥



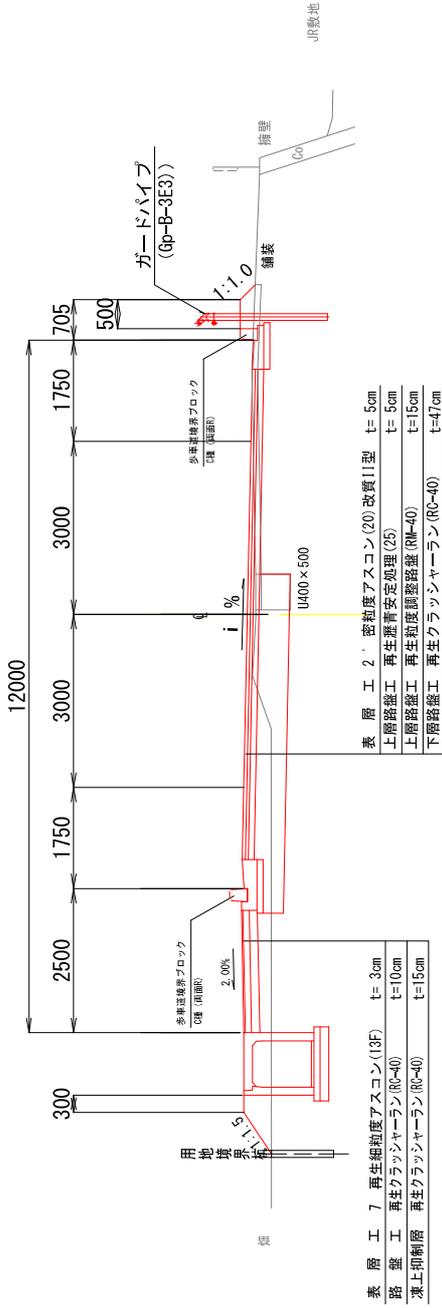
⑦

地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（一）282号 佐比内

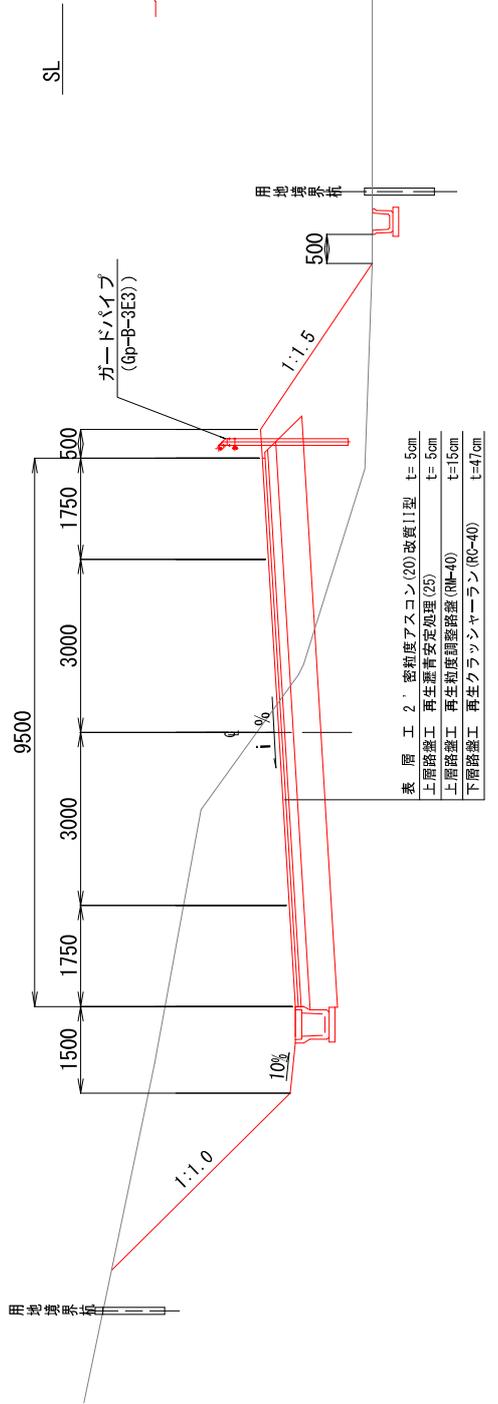
標準断面図 (1/2)

標準断面図 (2/2)

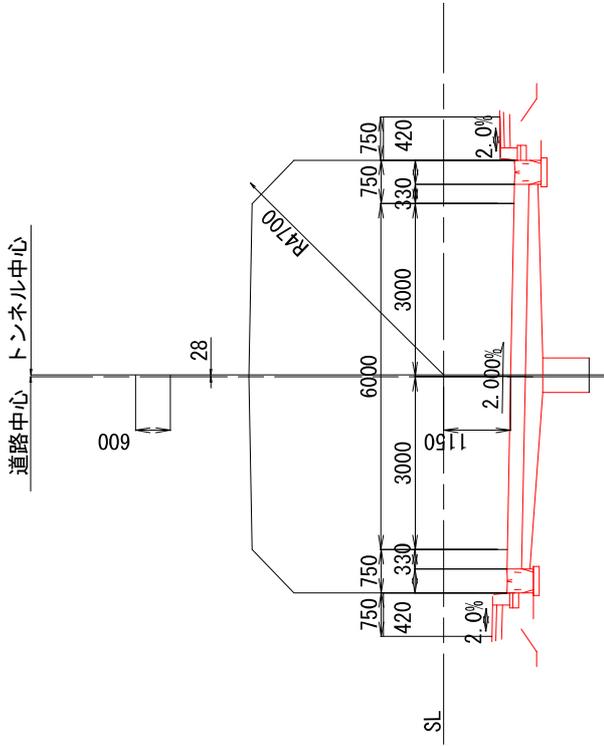
左側歩道設置区間



一般部



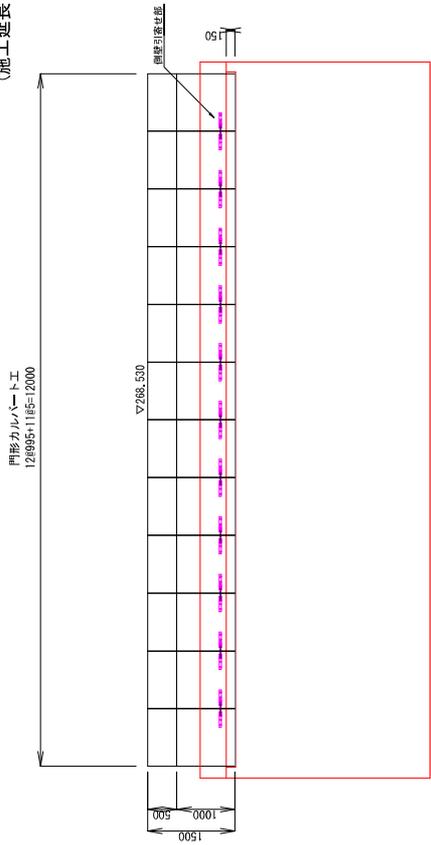
トンネル部
(NO. 22+0.0)



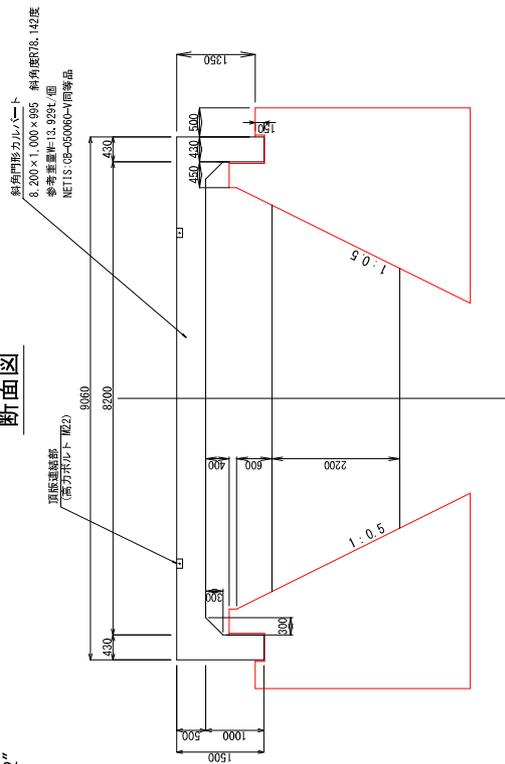
地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（一）282号 佐比内

側面図

門形カルバート割り付け図（参考図）
B8200-H1000-L995-斜角θ=R78° 08' 32"
（施工延長 L=12000）



断面図

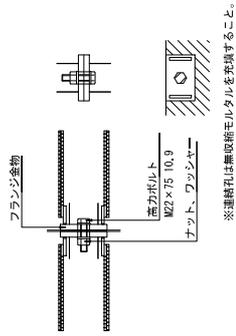


平面図

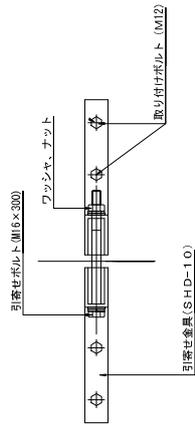
斜角門形カルバート工
 12895×1185×1200

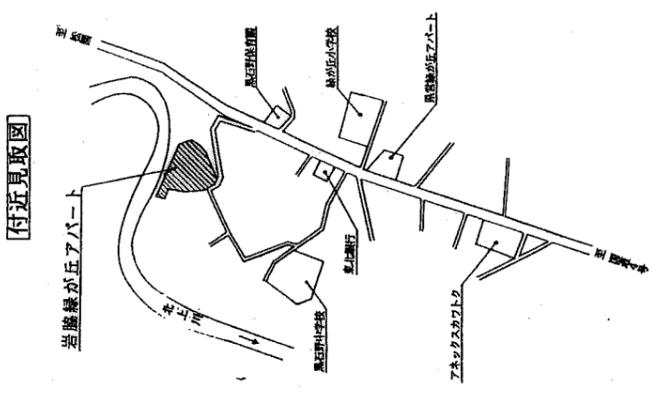
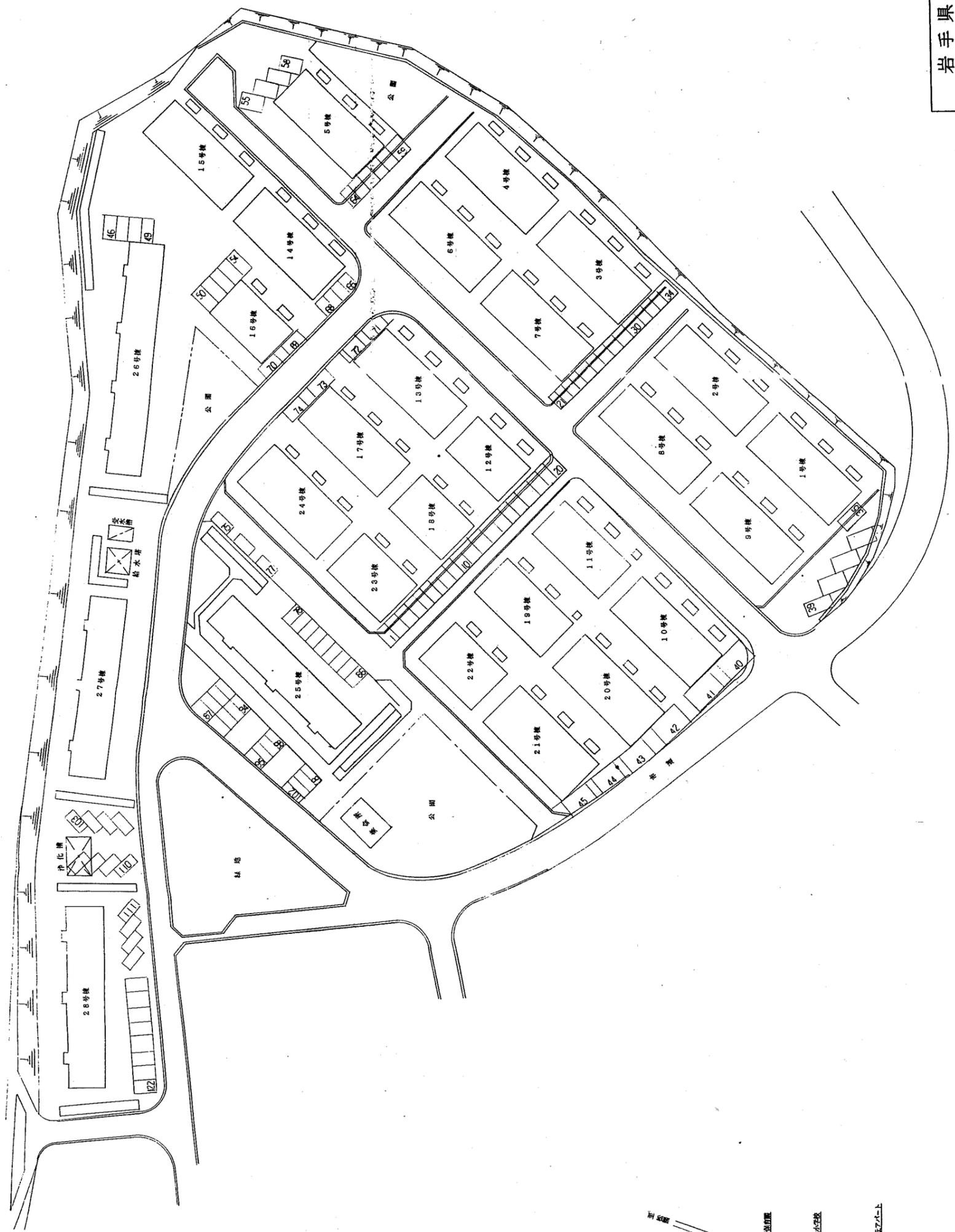
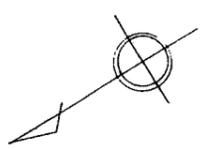


頂版連結部詳細図



側壁引寄せ部詳細図





岩手県土木部	
全 枚ノ中 其	配 置 図
平成 3 年度	
県営住宅駐車場整備(岩手県)	
縮 尺	1 : 5 0 0 .

県営岩脇緑が丘アパート建替基本構想図

【概要】

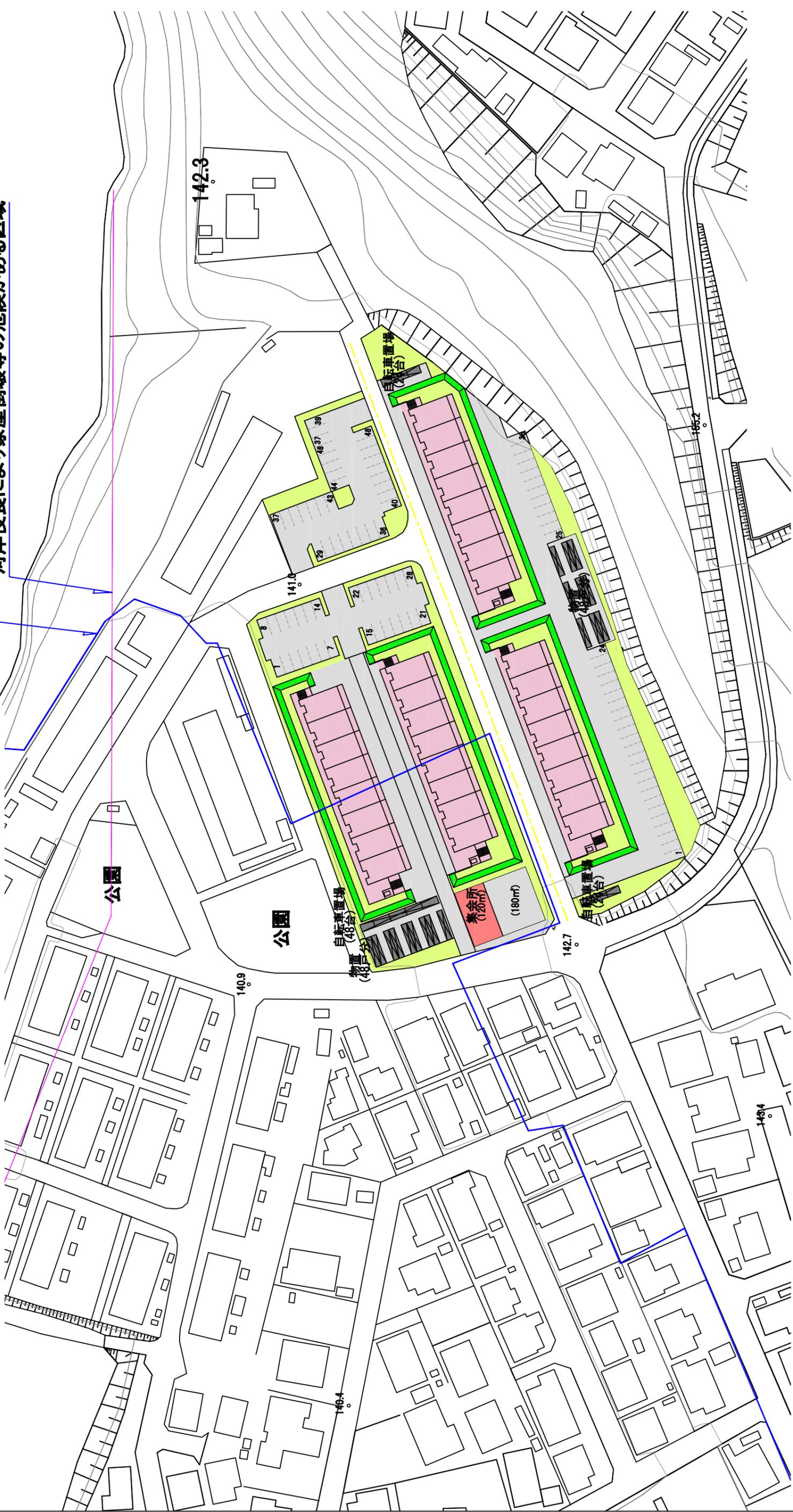
- 住棟：4階建て（1階部ピロティ、非居住）、24戸/棟×4棟
- 住戸：96戸（2LDK程度（約60㎡）、バルコニー（約8㎡））
- 駐車場：96台分（1台/戸）
- 倉庫（物置）：96戸分（1個/戸）
- 駐輪場：97台分（1台/戸）
- 集会所：1か所、約120㎡（集会室、調理室、トイレ、玄関、駐車スペース等（180㎡））
- 用途地域：変更なし
- 市道付替え：無し
- その他：住棟周囲3方向盛土（幅2m、高さ0.6~0.8m）

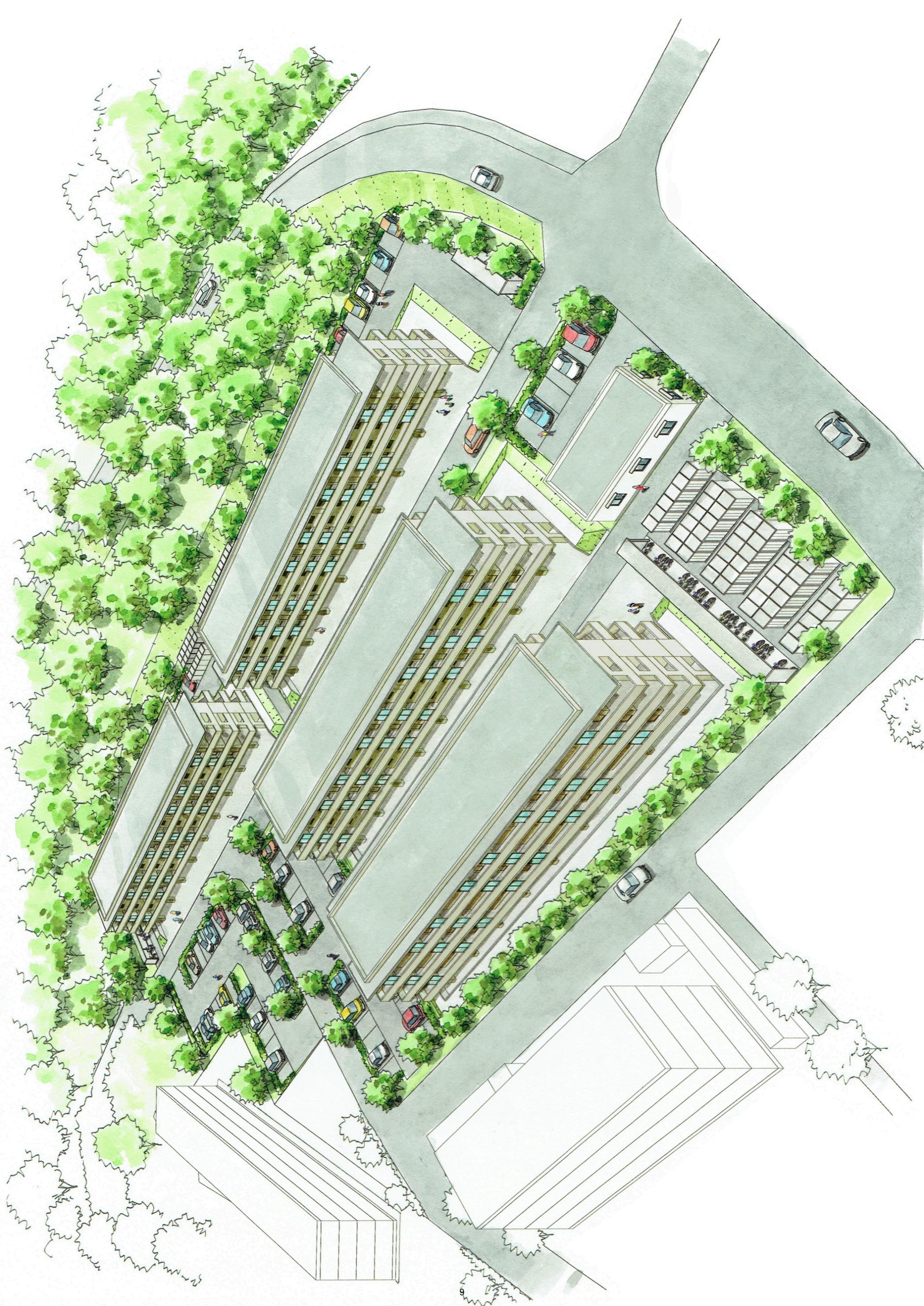
北上川

氾濫流により家屋倒壊等の危険がある区域（図面北西側）

河岸侵食により家屋倒壊等の危険がある区域

S=1/1,000
(A3)





P18	P19	P20	P21
P24	P25	P26	P27
P32	P33	P34	P35

洪水災害

早期の立退き避難が必要な区域

- 早期の立退き避難が必要な区域
- 河岸侵食によって家屋倒壊等の危険がある区域
- 氾濫流によって家屋倒壊等の危険がある区域

浸水深の目安

- 10.0m以上の区域
- 5.0~10.0m未測の区域
- 3.0~5.0m未測の区域
- 0.5~3.0m未測の区域
- 0.5m未測の区域

- 水位観測所
- 避難方向
- アンダーパス・地下道

土砂災害

土砂災害警報区域等

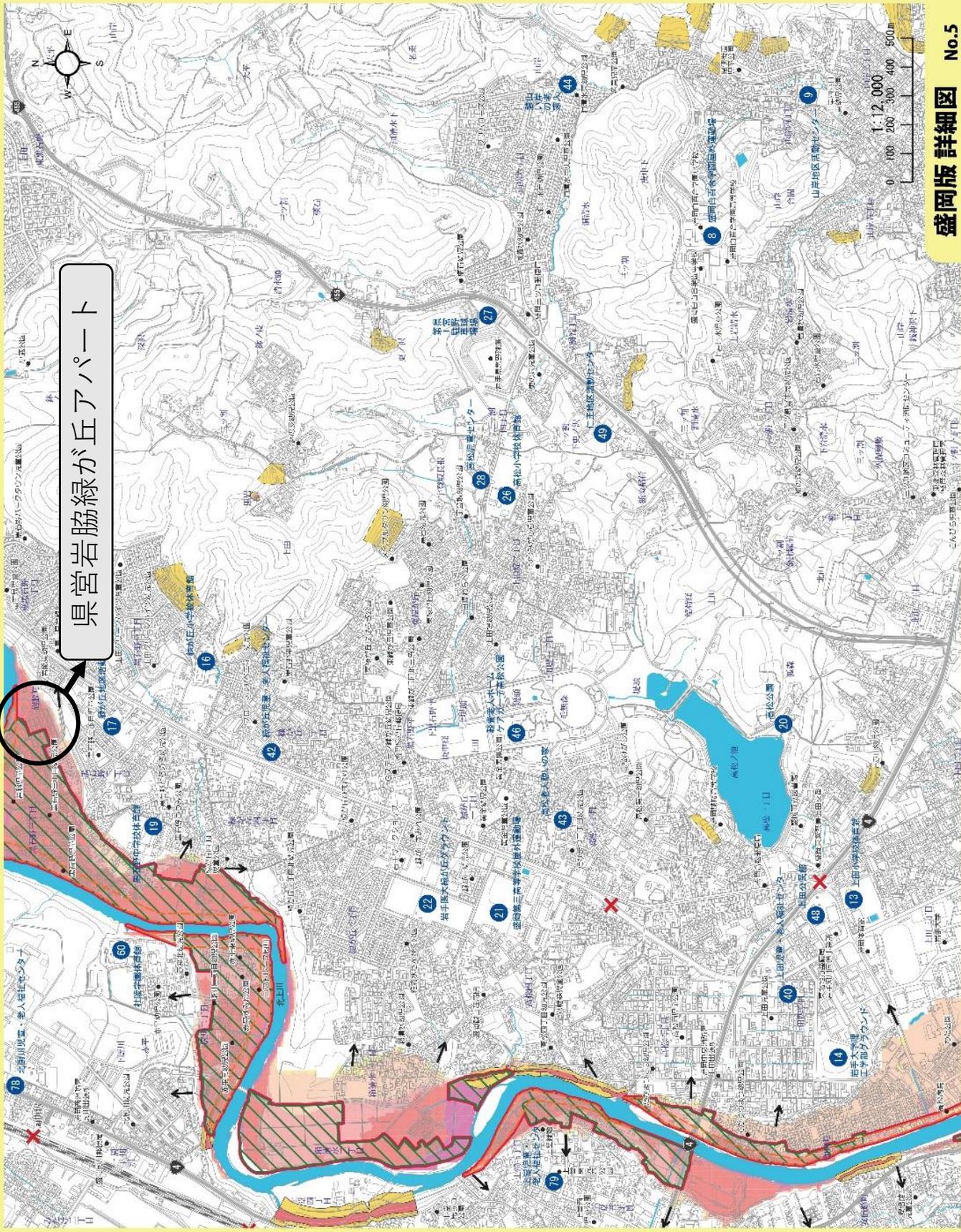
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 土石流
- 急傾斜

土砂災害危険箇所

- 土石流
- 急傾斜
- 地すべり

指定緊急避難場所 指定避難所

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所



盛岡版 詳細図 No.5

令和3年度公共事業評価専門委員会現地調査対象事業の審議概要

1 地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型） 一般国道282号 佐比内（八幡平市）

質疑等の概要	
専門委員会からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① トンネル工による増加額は予測された金額か。事業費の詳細な内訳を示してほしい。	<p>【道路建設課】<u>第2回専門委員会にて説明</u></p> <p>トンネルは未着工であり、増加額は見込値。内訳は次のとおり。</p> <p>①脆弱地層の確認：352,000千円</p> <p>②-1 重金属対策工の追加（遮水シート工）：182,000千円</p> <p>②-2 重金属対策工の追加（対策工法検討）：126,000千円</p>
② 用地未取得率26%について、取得目途は立っているか。用地取得が難航した場合、トンネル工への影響はないか。	<p>【道路建設課】</p> <p>遅くとも、来年度までに用地取得完了の見込みがあり、トンネル工への影響はないと考える。</p>
③ 用地取得の年率（年度ごとの用地取得状況）を示してほしい。	<p>【道路建設課】<u>第2回専門委員会にて説明</u></p> <p>用地取得の年率は次のとおり。（括弧書きは単年度の年率）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年度：3.5%（3.5%） ・H30年度：25.8%（22.3%） ・R1年度：59.0%（33.2%） ・R2年度：74.1%（15.1%）
④ 費用便益分析の、便益項目等について詳細な説明をしてほしい。	<p>【道路建設課】<u>第2回専門委員会にて説明</u></p> <p>費用便益分析に当たり、算出した各年次の費用と便益の値に社会的割引率（4%/年）を用い、現在価値化して分析している。</p> <p>なお、3便益とその他便益の、各便益については補足資料を用いて説明を行った。</p>
⑤ 脆弱地層が当初の設計よりも大幅に増加した要因は。	<p>【道路建設課】</p> <p>線形の計画変更があり、10メートルほど離れた位置でボーリング調査を実施したため。</p>
⑥ 費用便益分析について、事前評価時と再評価時を比較した際に、減少となる項目と便益の算出結果が増となる要因を説明してほしい。また、冬期の走行期間を考慮したことによる変化を分かりやすく説明してほしい。	<p>【道路建設課】</p> <p><u>第3回以降の委員会で説明する。</u></p>

2 公営住宅整備事業（公営住宅） 県営岩脇緑が丘アパート（盛岡市）

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課等の対応（回答）
① 例えば、町内会のような、住民同士のコミュニティは機能しているか。	【建築住宅課】 団地内には集会所があるが、利用率は少ないと思われる。また、町内会等はあるが、回覧板を回す程度と聞いており、強固なコミュニティとは言い難い現状と考えている。
② H29 の建替えに向けた基本構想の内容と、策定経緯を説明してほしい。	【建築住宅課】 H21 年度：1～24 号棟（132 戸）を建替え対象、25～28 号棟（55 戸）を維持保全対象に位置づけ。 H29 年度：計画戸数 96 戸とする基本構想を策定。
③ 現状の建物の今後の方針は。	【建築住宅課】 県全体の管理戸数等を踏まえて、検討することとなる。
④ 審議は終了とするが、現地調査のなかで、アパートの現状や災害への対応について説明していただきたい。	【建築住宅課】 了承した。